

目次

□巻頭言 建設機械の自動化について……………島 昭治郎/1

□昭和62年度官公庁の事業概要(4)~(5)

日本鉄道建設公団事業……………高野 彬/3

農業基盤整備事業……………岩村 和平/5

首都高速12号線の計画概要……………立川 喜吉/11

東京外郭環状道路……………中 垣 光 弘 勲/19

幸魂大橋の計画概要……………小 林 和 夫 義 淳/24

首都高速湾岸線の沈埋トンネル計画……………山 崎 和 夫 義 淳/24

——多摩川トンネル・川崎航路トンネル……………高山 津田 和 夫 義 淳

原子炉(JRR-3)一括撤去工事……………大 西 信 秋 章 夫 一 哲 純/29

……………大金 長 瀬 葉 哲 純

□随想 ありがとう……………柏 忠 二/34

軟弱地盤改良工法(VMS工法)の施工事例……………斎 藤 健 男 郎 豊 徹 男 郎 豊

……………斎 藤 八 木 健 徹 男 郎 豊

地中連続壁掘削機自動掘削システム……………日 下 徳 男 雄 肇

(SSS-G工法)の開発……………渡 野 村 徳 俊 男 雄 肇

油圧式アースドリル(TH55)……………島 村 光 昭/46

の開発と施工実績……………島 村 光 昭

JCMA 第35回海外建設機械化視察団報告……………/52

コネクスポ'87を観て……………コネクスポ'87を観て

グラビヤ——JCMA 第35回海外建設機械化視察団
CONEXPO '87

□新工法紹介

縦曲線セミシールド(泥水加圧)工法/……………調 査 部 会/57

空圧シールド(推進)工法……………調 査 部 会

□新機種ニュース……………調 査 部 会/59

□文献調査

新しいトレンチブラッシングシステムの紹介/……………文 献 調 査 委 員 会/63

機械式ケーブルボルターによるさく孔と岩盤着生……………文 献 調 査 委 員 会

□ISO規格紹介

土工機械に関するISO規格(22)-2……………I S O 部 会/66

□整備技術

新しい診断・再生技術(第5回)……………整 備 部 会/68

エンジンオイルによる診断……………整 備 部 会

□統 計

建設工事受注額・建設機械受注額の推移……………調 査 部 会/72

行事一覧……………/73

編集後記……………(天野・杉森)/76

◀表紙写真説明▶

超壁厚大深度地中連続壁用掘削装置
清水建設株式会社

本装置は最近高まりつつある地中連続壁の大壁厚化、大深度のニーズに対応すべく開発された掘削装置であり、次のような特長を有している。

- ① 掘削壁厚の対応範囲が大きく、カッタを交換することにより壁厚 1.5~3.2m の掘削ができ、また 150m の大深度掘削ができる。
- ② 高精度の掘削偏位検出装置により、掘削機の前・左右の偏位量を検出するとともに自動掘削制御システムにより2,000分の1以上の高い精度で掘削できる。
- ③ 掘削安定液水位の自動調整システム、油圧式掘削機位置決め(芯出し)装置などの自動化、コンパクト化された管理システムを有している。

◀主な仕様▶

掘削壁厚……………	1.5~3.2m
掘削深度……………	150m
ドラムカッタ……………	4個
リングカッタ……………	2個
ウイングビット……………	2個
電動機出力……………	55kW(ドラムカッタ用) 30kW(ウイングビット用)
偏位修正方式……………	電磁弁遠隔操作による油圧 シリンダ駆動方式
水中サンドポンプ……………	揚程 10m 吐出力 10m ³ /min